

目次

〈表紙題字 元広島大学教授 竹澤 丹一先生〉

〈きらめき—児童の活動から—〉

春と秋の元字品探検	第2学年
海の学習から	第4学年
「自然」「仲間」「自分」を知る 山の学習	第5学年
いもパーティーをひらこう	複式学級

〈巻頭言〉

社会人基礎力	秋 山 哲	5
--------------	-------	---

〈徒 然〉

「白熱」教室	林 武 広	6
--------------	-------	---

〈学習のヒント〉

◆国語科

図書室で見つけた子どもたちに人気の知識の本	羽 場 邦 子	8
楽しくできる学習ゲーム	岡 崎 禎 子	10
今、改めて読みたい「俳句」	谷 栄 次	12

◆社会科

〇月〇日〇時〇分に行ってみませんか?	新 谷 和 幸	14
まちをあらわすマンホールのふた	馬 場 恵 子	16

◆算数科

見方・考え方を育てる—「くじ引き」の学習から—	岡 田 泰	18
「かたち」の学習	土佐岡 智 子	20
かけ算九九ってヒミツがいっぱい!?	川 口 知佐子	22

◆理科

結晶づくり	土 井 徹	24
昆虫採集 七つ道具!	古 瀬 健太郎	26

◆生活科

野菜と花のはなし	樽 谷 秀 幸	28
季節を楽しもう!—あき・秋・あき—	石 田 浩 子	30

◆音楽科

親子でできる合唱—「〇〇〇〇マン」登場—	福 田 秀 範	32
どんな音色が聴こえてくるでしょう?	近 藤 知 美	34

◆図画工作科

G I F T—思いを伝えるカードづくり—	天 野 紳 一	36
立体コピーに挑戦	川 口 浩	38

◆家庭科

「お八つさん」	高 畑 律 子	40
---------------	---------	----

◆体育科

ゴールデンエイジの子どもたち—今まさに、伸び盛り—	福 田 忠 且	42
生活リズムの中に運動を!!	高 田 哲 也	44

◆特別支援教育

これも生活力? 「なかよくわけよう」の授業から	梶 山 雅 司	46
「生きたことば」って・・・	中 田 美 緒	48
子どもに豊かな生活経験を	中 山 美 代	50
～宿泊学習での荷物の準備や片付け～		
ぼく・わたしは高学年なんだ!—養護学級の話し合い—	山 形 恵美子	52

〈保健室の窓から〉

「しない」ことの大切さ—姿勢を正そうとしない・・・?!—	石 徳 由 希	54
------------------------------------	---------	----

〈給食室の窓から〉

牛乳の科学	天 野 聖 子	56
-------------	---------	----

〈東雲を見つめて〉

指導技術だけでなく、その幹になるもの	中 塩 曜 子	58
--------------------------	---------	----

〈生活・心の扉〉

登下校で心を育てる (その5)	羽 場 邦 子	60
-----------------------	---------	----

〈教育随想〉

ふりかえてみると	岡 田 泰	61
----------------	-------	----

季節を楽しもう！—あき・秋・あき—

石 田 浩 子

1 ○○と言えば？

秋と言えば、思い浮かぶものは何でしょうか。「実りの秋」「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」等、「秋」を飾る言葉にはいろいろあります。

子ども達に同じ質問をすると、一番最初に返ってきた答えは、「ドングリ・くり・さつまいも」でした。これまでの経験から子ども達にとっての秋は、何か実になるイメージが強いのかかもしれません。

続いて「もみじです。」という答えが返ってきました。

「ん？中庭のもみじの葉っぱは、夏にもありましたよね？」と更に問いかけると、「秋にもみじの葉っぱができるんじゃないかと、夏の葉っぱは緑色だったけれど、秋になると赤色に変わって、きれいです。」と説明しました。

実際に体験したことがあるのでしょうか、それとも、ご家庭での話題に出てきているのでしょうか。「落ち葉で焼き芋。」「お月見のおだんご。」「さんま」等、話をしているうちに、食べ物に関する意見も出てきました。

2 たんけん！はっけん！しのめの秋！

「東雲小学校にも秋はありますか？」

子ども達は自信満々で「あります！」と答え、東雲小学校の秋を求めて、わくわくしながら探検に出かけて行きました。やはり、子ども達にとって、探検活動は魅力満載なのですね。探検して発見したことの中から、その一部を紹介します。

「見つける」「比べる」「たとえる」という、これまでの探検の学習が活きています。

きれいな色のはっぱは、
いくつごやのちかくにた
くさんあるよ。

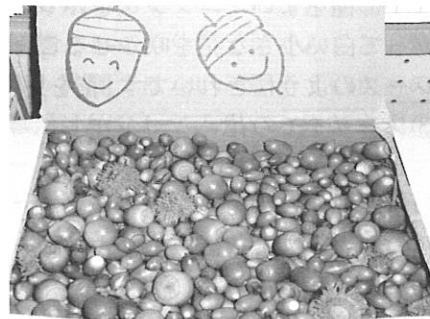
まつぼっくりみつけた。
あいだに、たねみたいな
のがはいつてるよ。

ドングリがいっぱいおち
てる。でも、まだみどい
いろだな。

木の上のほうのはっぱが
あかいよ。上からだんだ
んあかくなるのかな？

大きな大きなさくらんぼ
みたいだな。このいがい
がのみはなんだろう。

ここのいちようのはっぱ
は、たいいくかのちかく
のより大きいな。



3 季節を楽しもう！—あき—

(1) お気に入りの葉っぱを探そう。

秋探検をしていると、いつのまにか子ども達の探検バックが葉や実でふくらんでいました。「この葉っぱはすごく色がきれい。」「虫が食べて、穴が開いているところが好き。」「葉っぱの形が好き。」それぞれの思いで集めた、この葉っぱコレクション。時間が経つと枯れてしまうという難点があります。授業では、お気に入りの葉っぱベスト1を絵に描いて残しました。

(2) いちようの葉で作ってみよう。

学校内には3本のいちようの木があります。どこにあるかご存じですか？そのいちようの葉でねずみの顔を作り、絵をかきました。愛らしい表情のねずみたちができあがり、子ども達も大喜びです。紅葉した葉で絵を描く…こんな楽しみ方もありますね。

合わせて、「その実はかなり臭い。でも、食べる」とおいしいいちようの実（ぎんなん）や「いちようには雄と雌の木があること」も話題になりました。

「雄の木、雌の木の見分け方」や「他にも雄の木雌の木がある木はあるのか」等、理科の先生を訪ねて質問したり、図書室や家で調べたりと、学習がどんどん広がっていきました。

(3) まつぼっくりで作ってみよう。

秋探検で、子ども達は小学校前庭や中学校グラウンドからたくさんのまつぼっくりを拾ってきました。また、保護者のご協力も得て、まつぼっくりBOXに入らないくらい集まりました。そのまつぼっくりと給食のデザートカップを使ってのミニツリーです。いかがですか？ドングリや実、ビーズやリボンを飾って、手軽に作ることができますよ。

(4) ドングリで遊ぼう。

「長くよく回るこまを作りたい。」子ども達の願いはここに集中しました。「選ぶドングリの形や大きさは？」「じくの長さは？」

試行錯誤しながら、最強のドングリこまをめざして製作に励みました。さあ、結果はいかに？「〇くんのはすごい！床に落ちてても回ってる。」友達のよさを認めながら、ちょっぴり悔しそう。どうやら回し方にもコツがあるようだと思ひ、練習を始める子ども達。素朴な遊びの中からいろいろな気づき生まれます。ご家庭でも一緒にいかがですか？案外、大人の方がむきになってしまうかもしれません。

4 まとめに代えて

生活科での「秋」を楽しむ活動をご紹介しました。「春」と言えば？「夏」と言えば？「冬」と言えば？思い浮かぶことは何でしょう。四季がある日本だからこそ、遊びや行事を通して、それぞれの季節を感じたり、楽しんだりする工夫を行いたいと思っています。

